

魅力と活力 日本海側の中枢都市



新たな総合計画に向けて 「にいがた21ビジョン」策定へ

高次都市機能の面では、新たな総合計画の策定に向けて、新潟市の将来構想「にいがた21ビジョン」の策定により、これまでの都市圏の課題については、これまでの調査結果などをふまえて、今後の新潟都市圏のあり方の基本的方向を固めていきます。

一体的な整備計画を策定する「新潟空港周辺市街地整備計画策定調査」の将来道路網を早急に都市計画決定するための「都市計画道路計画調査」市街地化の計画的な整備など、周辺地域の整備

化区域及び市街地調整区域全体的見直しの一の四調査事業。継続調査事業として「都市景観形成事業」一万代橋上流部及び関連道路計画推進事業、関屋分水から上新米町までの海岸に快速な海浜空間

促進のための調査実施と計画の策定です。海祭典が、新潟市で開催。新潟空港の整備には滑走路延長を主に約五億六千万円を計上。

新潟空港の整備には滑走路延長を主に約五億六千万円を計上。新海道の整備には一億五千万円を負担するほか、港の利用率を高めるためのポートセー

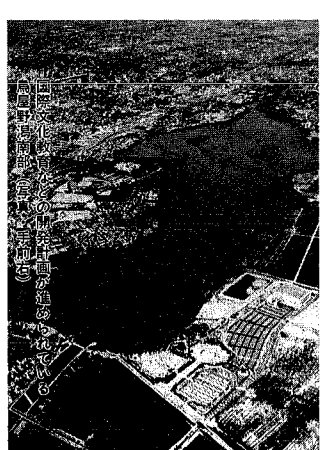
ルスの一層推進します。全国の主要港湾都市で海の記念日の定章と海への関心を高めるため開かれている「海祭典」の新潟市開催に二千万円を負担します。

今年度は約九千万円を助成します。市街地の交通混雑や高速交通ネットワーク作りを計画。市街地の整備を促進するため、都市計画道路の整備を促進します。新しくとりかかっているものとして、川端町入船町線、幹線道路、生活道路の整備を促進し、道路交通網の確立を図ります。新規事業として、五十嵐二の町一線(仮称、東新潟駅前幹線、下山本所線)など、継続の主なものとして、石山北山線、紫河渡線、青山幹線、北陸自動車道、磐城自動車道の側道など、生活道路として舗装、側溝、交通安全施設の整備をします。

市街地の交通混雑や高速交通ネットワーク作りを計画。市街地の整備を促進するため、都市計画道路の整備を促進します。新しくとりかかっているものとして、川端町入船町線、幹線道路、生活道路の整備を促進し、道路交通網の確立を図ります。新規事業として、五十嵐二の町一線(仮称、東新潟駅前幹線、下山本所線)など、継続の主なものとして、石山北山線、紫河渡線、青山幹線、北陸自動車道、磐城自動車道の側道など、生活道路として舗装、側溝、交通安全施設の整備をします。

日本海側の中枢都市にふさわしい、活力あるたくましくまちづくりの実現を目指すため、今年度も都市計画関連の各種調査、事業を行います。新しく実施する調査・事業は、大規模店舗の進出が著しい中で既存商店街など商業地域の活性化を図るための「商業地域振興整備基本計画策定調査」新潟空港周辺地区の都市機能の充実を図り、空港

鳥屋野潟南部開発 引き続き推進



都市開発関係では、鳥屋野潟南部開発計画の国際文化教育及び総合レクリエーションゾーンの再開発事業に対して助成を行うほか、E・F街区区画道路の整備着手します。新潟市周辺の交通混雑の解消を図るため、駐車場、駐輪場についての公共・民間の役割分担、接続道路など交通施設整備計画の調査を行います。土地区画整理事業では、的場地区、新崎南地区に対して、駅前付やき通りの「光り

のペリセント」にも新たに助成します。勤労者福祉センターの設立に向け調査

整備計画を策定。歩行者優先ネットワーク作りを計画。市街地の整備を促進するため、都市計画道路の整備を促進します。新しくとりかかっているものとして、川端町入船町線、幹線道路、生活道路の整備を促進し、道路交通網の確立を図ります。新規事業として、五十嵐二の町一線(仮称、東新潟駅前幹線、下山本所線)など、継続の主なものとして、石山北山線、紫河渡線、青山幹線、北陸自動車道、磐城自動車道の側道など、生活道路として舗装、側溝、交通安全施設の整備をします。

商店街活性化推進に 多彩な新規事業



既存商店街振興策として「商人塾」の開催など、多彩な事業で支援を図ります。

商業関係では、既存商店街振興の新規事業として経営診断士や専任の店舗診断師等、アドバイザー制度の導入、消費者の意識調査とを取り入れるための商店街活性化研究事業、法人化した商店街を対象とした商店街組織の推進事業、若手経営者を対象とした人材育成を目指す「商人塾」設計室、学術研究機関も融資の対象にするなどさらに充実させました。

制度融資をさらに充実。中央卸売市場では、産地手冷野菜の増加に対応して低温卸売場を増設、一億二千三百万円計上し、新鮮な青果物の供給に努めます。また旧冷蔵施設跡地に駐車場を増設し、作業効率の向上をはかっています。

工業関係では、行政の枠にとらわれ中小企業の販路拡大に力を入れています。大、人材確保、ベンチャービジネスの育成、技術開発など総合的な産業振興の役割を果すべく市と民間企業の役割分担を推進し、作業効率の向上をはかっています。

貿易では、従来のポルトセーラーに加え、四月にソ連船の強化を図るため民間企業と企業と協力して財団法人「ソ連船」の強化を図ります。コンベンションビュローは、新潟市周辺の交通混雑の解消を図るため、駐車場、駐輪場についての公共・民間の役割分担、接続道路など交通施設整備計画の調査を行います。土地区画整理事業では、的場地区、新崎南地区に対して、駅前付やき通りの「光り

のペリセント」にも新たに助成します。勤労者福祉センターの設立に向け調査

インタストリアル プロモーションセンターを 民間と共同で設立

商業関係では、既存商店街振興の新規事業として経営診断士や専任の店舗診断師等、アドバイザー制度の導入、消費者の意識調査とを取り入れるための商店街活性化研究事業、法人化した商店街を対象とした商店街組織の推進事業、若手経営者を対象とした人材育成を目指す「商人塾」設計室、学術研究機関も融資の対象にするなどさらに充実させました。

制度融資をさらに充実。中央卸売市場では、産地手冷野菜の増加に対応して低温卸売場を増設、一億二千三百万円計上し、新鮮な青果物の供給に努めます。また旧冷蔵施設跡地に駐車場を増設し、作業効率の向上をはかっています。

工業関係では、行政の枠にとらわれ中小企業の販路拡大に力を入れています。大、人材確保、ベンチャービジネスの育成、技術開発など総合的な産業振興の役割を果すべく市と民間企業の役割分担を推進し、作業効率の向上をはかっています。

貿易では、従来のポルトセーラーに加え、四月にソ連船の強化を図るため民間企業と企業と協力して財団法人「ソ連船」の強化を図ります。コンベンションビュローは、新潟市周辺の交通混雑の解消を図るため、駐車場、駐輪場についての公共・民間の役割分担、接続道路など交通施設整備計画の調査を行います。土地区画整理事業では、的場地区、新崎南地区に対して、駅前付やき通りの「光り

のペリセント」にも新たに助成します。勤労者福祉センターの設立に向け調査

整備計画を策定。歩行者優先ネットワーク作りを計画。市街地の整備を促進するため、都市計画道路の整備を促進します。新しくとりかかっているものとして、川端町入船町線、幹線道路、生活道路の整備を促進し、道路交通網の確立を図ります。新規事業として、五十嵐二の町一線(仮称、東新潟駅前幹線、下山本所線)など、継続の主なものとして、石山北山線、紫河渡線、青山幹線、北陸自動車道、磐城自動車道の側道など、生活道路として舗装、側溝、交通安全施設の整備をします。

集落排水対策に 5億5500万円 江口地区でも着手

農業生産基盤の整備では、南浜地区などの土地改良事業や、鳥屋野潟の排水防除事業、西蒲原・亀田郷地区の排水事業を継続し、また新たな排水事業を継続すること、新く赤塚地区の除根農機の整備に着手する事業費を計上しています。集落の環境改善では、大湖地区の農村総合整備事業、農業改良センターの整備に着手する事業費を計上しています。おひねり農家の栽培技術や経営改善の指導と、また試験調査の花と緑の普及を図るほか、球根等冷蔵庫の新設などに、千万円計上しています。

ふれあい散策ロード 整備計画を策定

整備計画を策定。歩行者優先ネットワーク作りを計画。市街地の整備を促進するため、都市計画道路の整備を促進します。新しくとりかかっているものとして、川端町入船町線、幹線道路、生活道路の整備を促進し、道路交通網の確立を図ります。新規事業として、五十嵐二の町一線(仮称、東新潟駅前幹線、下山本所線)など、継続の主なものとして、石山北山線、紫河渡線、青山幹線、北陸自動車道、磐城自動車道の側道など、生活道路として舗装、側溝、交通安全施設の整備をします。